



ちよっとためになる お金 の話

こんにちは。子育て世代専門のFP（ファイナンシャルプランナー）角山です。

2年前より高校で金融教育の授業が始まりました。また、今年からの新NISAなど『貯蓄から投資へ』と時代がシフトされており、これには時代背景の変化があるとお伝えしました。時代背景の変化には、前回までのコラムでお伝えした様に、退職金制度や年金制度が関係しています。あと、関係しているのが金利です。

3月にマイナス金利が解除され、4月には大手金融機関の預貯金の金利が引き上げられました。その後、地銀も引き上げを実施しているようです。では、金利が上がることによってどんなところに影響が出るのでしょうか。

●金利が上がることでの特長
 金融機関の金利が上がリ、預け入れをする人が増えます。

金利が上がることによって我々が金融機関で預けている普通預金や定期預金の金利も上がり、貯金額が増えます。円安で物の値段が上がリ、家計を圧迫していますが、我々の生活も少しは楽になって欲しいですね。

●金利が上がることでの特長
 右記で述べたように、金融機関に預けた方がお金が増えるのなら使わずに預け入れをしようと考える人が増える可能性があります。そうなるとお金が使われず、物が売れず、景気が悪くなる可能性があります。

他に考えられることは、住宅ローンです。

住宅ローンには、代表的なプランが3種類あります。

- ① 全期間固定型
- ② 固定期間選択型
- ③ 変動型

日本人の7割が変動金利を選択しているようです。一般的には変動金利の方が固定金利の金利より低く設定されており、この辺りは長らく低金利が続いていたため金利は上がらないだろうと思われている方が多く、毎月の返済金額が少なくなる変動金利を選択されている方が多いと思います。

ただ、注意点もあります。変動金利には「5年ルール」や「12.5%ルール」があります。詳しくは来月、お話しします。

最後までお読み頂きましてありがとうございました。来月も良かったら見てくださいね。

HUG HUG特典 無料相談は要予約
 角山先生と1対1で相談(相談時間:1時間 無料)
 &
 家計診断(ライフプラン)作成プレゼント



無料相談をご希望の方は、メールにて受け付けています。

①氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④ご希望の日時を明記し、[info@hughug-town.com]までお送りください。



角山 大尚

約21年前より独立し、ファイナンシャルプランナーとしてセミナーや個別相談会を全国各地で開催。個別で勉強して身につけた知識をどう実生活に活かしていくのかをアドバイスしている。